

猿が山

日程：2022/1/23（日）

メンバー：青松

天候：曇

アクセス：車 県道から漆谷へ入る道路の除雪終了点駐車

行程：駐車地 7：10→標高 977 メートル付近下から 3 番目の送電線鉄塔 9：00→

標高 1221 メートル小瀬からの稜線合流地点 9：55→猿が山 10：55～11：25→

駐車地 12：00.

・寝過ごして 7 時を過ぎての出発。以外にも先行者 2 名組がいた。取り付きに不安があったが先行者のトレースを辿り迷うことなく進む。

・いきなりの急斜面だが先行者は直登している。トレースの幅からスーパーファットであることは明らか。強靱な二人組だと思った。

・ 800 メートル辺りで確認できたが一人しか見えない。あれっ、女性の方である。パスするときに相方が先に行ってますとのこと。ご夫婦で来ておられた。

・ご主人には 3 番目の送電線鉄塔で休憩されている所で追いつきラッセルのお礼を言う。お返しにラッセルを交代して進むが急登で参った。しかしこの深雪の大急斜面を滑れるかと思うと気分は盛り上がる。本当にいい場所。かなり頑張って進むがご主人には 1221 メートル稜線にのる所で追いつかれた。ここでこの方は妻を待つとのことで行く。

・ここからは小瀬からのトレースがあり斜度も緩むので一気に楽になる。昨日 10 数人が入ったとみられ、ここからの斜面はまあまあギタギタ。それでも選べば十分か。緩い所は高速が敷かれているのでありがたいとも言える。頂上直下で再び急になるがひと頑張りで山頂に到着。

・曇天であるが視界は遠くまであり周辺の山々が見渡せる。風もなく穏やかで寒くない。しかし雪は生きている。

・山頂で時間を潰しご夫婦を待つ。その後いくらか話をさせてもらい金沢の H 先生とは懇意にしている事を窺った。板はご夫婦でポンツーン、山頂に 3 人で全員ポンツーン。

・前半のラッセルもあるのであの深雪大斜面はお先にどうぞと欲していたが、私達はゆっくりするので逆にお先にどうぞとのこと。あの大斜面一人くらい滑っても何の問題もないでしょうと先に行かせてもらう。

・さあ行きましょう。雪は生きている。山頂からも探せばトレースのない所もある。スピードに乗って大きいターンで落ちて行く。斜度が緩くなれば高速に乗る。

・ 1221 ピークからは流涎の深雪大斜面、この斜度でこの深さでこの広さのノートラック！あ～快感！

・最後は一部藪っばい所もあるが今シーズンの積雪量でストレスフリー、車の真横に帰還。